

# JICA's Approach 中東地域の安定につながる支援を

国際社会に大きく影響を与える中東情勢。その安定化は世界の平和と安定にとって欠かせない。中東地域が抱えるさまざまな課題に対し、JICAはどのように支援しているのか。

「産油国」「イスラム教」「テロ」 そんなイメージが付きまといがちな中東地域が抱える課題は複雑だ。天然資源への過度な依存、未熟な製造業、人口増に伴う失業者の増大、所得格差の拡大、個人の自由の制限、政体への不満など、常に潜在的な不安定要因が重なっている。特に9・11以降はアフガニスタンやイラクの問題がきっかけとなって、こうした要因が顕在化し、時にはテロの脅威を増幅させる状況を生み出している。また、長年にわたるパレスチナ・イスラエルの対立が地域全体に深刻な影響を及ぼし、中東平和の実現は、域内はもちろん、世界の

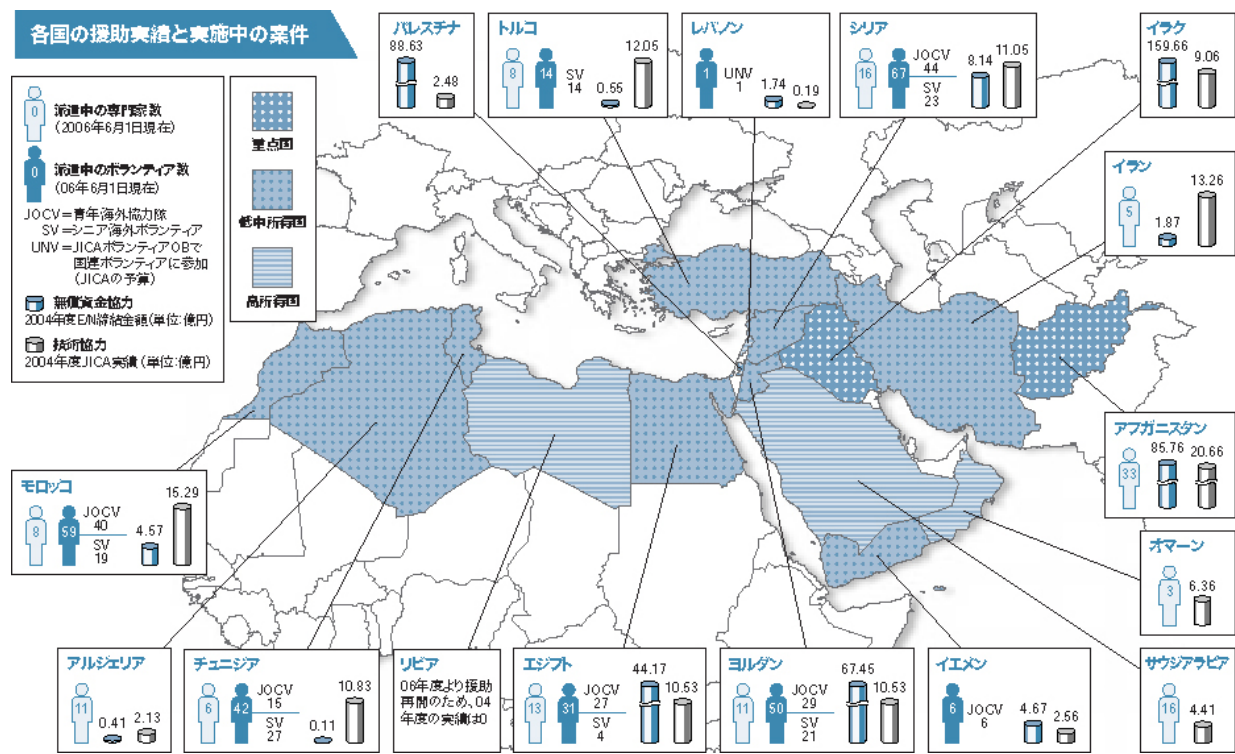
での円借款、総額50億ドルの支援)に基づき、資金協力が結び付く復興事業を行っている。また、エジプト、ヨルダンなど近隣のアラブ諸国や日本で、医療、電力、水資源管理などの分野でイラク人行政官や技術者の研修を実施し、イラクの国づくりを担う人材の育成に努めている。

**低所得国**  
経済改革や産業競争力強化につながる技術者育成、行政能力向上、水供給、地方開発、貧困削減、環境保全を地域共通の重点分野とし、各国のニーズに応じた事業を、「選択」と「集中」を基本に実施している。

また、ボランティア事業も、国別の事業実施方針に基づく重点プログラムの中に位置付け、プログラム・アプローチを促進している。  
地域共通の課題に対しては、専門家が広域的に支援するなど域内協力を推進して取り組み、効率化に努めている。

アフリカに対する南南協力を重視してきたエジプト、チュニジア、モロッコなど北アフリカ諸国とは、パートナーシップ協定に基づいて、今後も内容を見直しつつ第三国研修を実施している。

**高所得国と後発開発途上国**  
サウジアラビアやオマーンなど高所得国に対しては、多様な産業の育成と雇用促進につながる技術者育成、環境保全を重点分野とし、相手国の一定の経費負担を求めつつ、技術協力の優位性のある限られた分野に協力を行っている。  
LDCのイエメンに対しては、貧困削減と社会サービス向上を目指して、水供給、教育、保健医療分野で協力を拡充する。



現在実施中の案件(2006年4月1日現在)	イラン	パレスチナ
<b>アフガニスタン</b>	<b>技術</b> 省エネルギー推進	<b>技術</b> ジェリコ及びヨルダン渓谷における廃棄物管理能力向上
<b>技術</b> カンダハル掃蕩民社会復帰・コミュニティ開発支援計画	<b>技術</b> 職業訓練視聴覚教材向上計画	<b>技術</b> 母子保健に焦点を当てたリプロダクティブヘルス向上
<b>技術</b> 地方開発支援	<b>技術</b> 地震後72時間緊急対応計画構築	<b>技術</b> 地方行政制度改善
<b>技術</b> 国立農業試験場再建計画	<b>開</b> テヘラン市上水道システム耐震性強化計画調査	<b>開</b> ジェリコ地域開発計画調査
<b>技術</b> リプロダクティブヘルス	<b>開</b> ケルマン州バム地震灌漑農業復興開発調査	
<b>技術</b> 結核対策	<b>開</b> コレスタン州洪水・土砂流対策計画調査	
<b>技術</b> カンダハル保健科学院助産師教育計画		<b>サウジアラビア</b>
<b>技術</b> 医学教育		<b>技術</b> 看護指導者能力強化
<b>技術</b> ノンフォーマル教育強化	<b>技術</b> 博物館活動を通じた観光振興	<b>技術</b> 自動車技術高等研修所計画
<b>技術</b> 教師教育強化(STEP)	<b>技術</b> 無収水対策能力向上	<b>技術</b> 技術教育開発・訓練センター
<b>技術</b> 識字教育強化	<b>技術</b> ICTを活用した理科教育実施のための学習教材センター(LRC)機能強化	<b>技術</b> ピャクシン林保護管理計画
<b>技術</b> 女性の経済的エンパワーメント支援	<b>技術</b> 南部地域における女性の健康	<b>技術</b> 女性起業家支援
<b>技術</b> 除隊兵士の社会復帰のための基礎訓練	<b>技術</b> 職業訓練指導システム及び指導員のレベルアップ	
<b>開</b> カブール市給水計画調査		<b>シリア</b>
		<b>技術</b> アル・バース大学獣医学教育強化計画

平和と安定にとっても大切だ。  
一方、地中海沿岸諸国を中心に、欧州連合(EU)との貿易自由化や経済統合に向けた動きが加速しつつあり、競争力のある産業と技術者を育成し、雇用を拡大するための対策が急がれている。  
日々変動する国際情勢とも絡み合うこれらの問題の解決を促し、中東の社会的安定と平和の実現に貢献していくことは、エネルギー資源の大部分を同地域に依存する日本はもちろん、国際社会全体の重要な課題といえよう。こうした背景を踏まえ、JICAは、重点国(アフガニスタン、イラク、パレスチナ)、低所得国(トルコ、チュニジア、イラン、ヨルダン、アルジェリア、モロッコ、エジプト、シリア)、高所得国(サウジアラビア、オマーン、リビア)、および後発開発途上国(LDC: イエメン)に分類し、それぞれの開発課題に対応した支援を実施している。

長期間の紛争により疲弊した国の再建に取り組むアフガニスタンに対する平和構築・復興支援を、この地域の最重要課題として位置付けている。また、政府・行政組織が必ずしも末端まで十分に機能していないこれらの国々への支援では、「人間の安全保障」の視点を重視して事業を展開している。  
アフガニスタンでは、「人間の安全保障」の視点に基づき、教育、保健医療、地域開発など、住民に直接行き届く事業に力を入れるとともに、中長期的な開発に向けて、水資源開発や農業開発、行政能力の強化などに取り組んでいる。また、無償資金協力による道路などのインフラ整備が進められている。  
パレスチナでは、ジェリコを中心にヨルダン川西岸地区およびガザ地区への面的拡大も視野に入れて実施している。また、イスラエルとの信頼醸成が重要であることから、和平の動きを踏まえつつ、ヨルダンやエジプトなど周辺国と連携しながらそのプロセスを支援している。  
イラクに対しては、日本政府のイラク復興支援の枠組み(15億ドルの無償資金供与、最大35億ドルま

トルコ	エジプト	モロッコ	チュニジア	アルジェリア
<b>技術</b> 穀物改良と種子テクノロジー	<b>技術</b> 地域環境管理能力向上	<b>技術</b> 零細漁業改良普及システム整備計画	<b>技術</b> 沿岸水産資源の持続的利用計画	<b>技術</b> 環境モニタリングキャパシティデベロップメント計画
<b>技術</b> 水資源情報センター整備計画	<b>技術</b> パレスチナ向け第三国集団研修電気技術	<b>技術</b> 零細漁業普及振興(第三国研修)	<b>技術</b> ボルジュ・セドリアテクノパーク運営管理向上	<b>開</b> アルジェ地域地震マイクロゼーニング調査
<b>技術</b> 節水灌漑農業普及	<b>技術</b> 貿易研修センター・フェーズ2	<b>技術</b> 地方飲料水供給計画支援		
<b>技術</b> 全国環境モニタリング能力強化計画	<b>技術</b> 労働需要調査と短期訓練コースの開発	<b>技術</b> 道路保守技術(第三国研修)		
<b>技術</b> リプロダクティブヘルス改善	<b>技術</b> ナイルデルタ水管理改善計画	<b>技術</b> 地方村落妊産婦ケア改善技術協力		
<b>技術</b> 物流システム近代化計画	<b>技術</b> アフリカ向け第三国集団研修感染症疫学分析と総合的品質管理	<b>技術</b> 水産物付加価値向上促進計画		
	<b>技術</b> エイメン向け第三国研修道路建設機械訓練			
	<b>技術</b> アフリカ向け第三国集団研修温水域における水産一般			
	<b>技術</b> アフリカ向け第三国集団研修農地排水			
	<b>技術</b> 地域開発活動としての障害者支援			
	<b>技術</b> シャルキーヤ県上下水道公社経営改善			
	<b>技術</b> 輸出振興センター			
	<b>技術</b> イラク向け医療第三国研修			
	<b>開</b> カイロ都市有料高速道路整備計画			
	<b>開</b> 大カイロ都市圏持続型都市開発整備計画調査			
	<b>開</b> 東地中海地域海陸一貫物流システム調査			